

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

9月9日は「救急の日」

その症状、緊急ですか？

近年、休日や夜間の救急病院に軽症の患者が集中し医師の負担が増えているほか、安易な救急車の呼び出しで出動回数が増え、現場への到着時間が遅くなるなど重症患者の搬送に困るケースが出てきています。このままでは、住民の皆さんに適切な医療を提供できなくなるおそれがあります。次の点に気を付けながら、一人一人が医療機関や救急車の適切な利用を心掛けましょう。

▶ 普段からの3つの心掛け

- ①日ごろから、「かかりつけ医」を持ちましょう。
- ②健康診断や検診などを利用し、病気の予防や早期発見に努めましょう。
- ③家庭で薬を常備しましょう。

▶ 受診に当たっての3つの心掛け

- ①なるべく医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
- ②救急車で搬送されても、軽症の場合は、通常の受け付け順となる場合があることに留意しましょう。

教えて！消防士さん



Q 救急車を呼んだのに、消防車も一緒に来たのはなぜですか？

A 「救急車を呼んだのに消防車が来た」「救急車と消防車が一緒に来た」など、急な消防車の登場に驚いたことはありませんか。

この謎の答えは「PA連携」。「P」はポンパー（ポンプ車）、「A」はアンビュランス（救急車）の頭文字です。救急現場で救急隊と消防隊が連携して救急・救護活動などを行うことを

- ③休日や夜間で比較的症状の軽い人は、松山市急患医療センターや松山市医師会休日診療所を利用しましょう。



▶ 迷ったときは「Q助」アプリ

消防庁が開発した無料アプリ、「Q助(きゅーすけ)」は、症状などから患者さんの状態（緊急度）を判定し、救急車を呼んだ方がいいか、様子を見るべきかなど必要に応じた情報を提供してくれます。

▼ダウンロードはこちら



● App Store

● Google Play



「PA連携」といいます。

救急隊の到着が遅くなる場合、頼りになるのが現場に近い消防隊です。消防車には応急処置資器材やAEDを載せており、救急車が到着するまでの間、消防隊が応急処置を行うことができます。両者が連携することで、救命率の向上や皆さんの安全・安心の確保を目指しています。